

令和4年度第2回総合教育会議議事録

(要 旨)

開催日 令和5年3月9日(木) 14:30~16:15

開催場所 名寄市民文化センター 大会議室

出席者 市長 加藤 剛 士
教育長 岸 小夜子
職務代理 松田 潤子
委員 高橋 雅樹
委員 中枝 雅子
委員 梅野 新

事務局職員 総合政策部長 石橋 毅
総合政策課長 室 秀樹
総合政策課参事 菊池 崇史
健康福祉部長 馬場 義人
こども・高齢者支援室長 松田 慎司
市立大学事務局長 水間 剛
教育部長 木村 睦
学校教育課長 池田 俊一
参事(特命課題担当) 土井 涉
参事(指導主事) 馬場 泰栄
生涯学習課長 佐々木 憲一
生涯学習課主幹 白井 薫
智恵文公民館長 吉田 清人
参事(風連生涯学習担当) 小笠原 弘
名寄市児童センター館長 柴野 武志
北国博物館長 金田 卓浩
図書館長 新田 博之
天文台長 村上 恭彦
学校給食センター所長 鷺見 良子
学校教育課総務係長 石倉 あゆ美

傍聴者 0名

議 事 (1) 名寄市教育大綱について

会議録（要旨）

進行：池田学校教育課長

- 1 開 会 午後 2 時 3 0 分
- 2 市長挨拶
- 3 議 事

※設置要綱第 4 条の規定により市長が議長を務める。

（1）名寄市教育大綱について

〔教育部長〕

名寄市総合計画は後期基本計画として新たに見直し策定されたことから、名寄市教育大綱についても名寄市総合計画後期基本計画と整合性を図るため見直しを行う必要があります。

名寄市総合計画後期基本計画の基本目標 V は、本市の教育分野における主要施策の現状と課題、後期計画期間の方向性、主な成果指標などについて記載されており、本市の総合的な施策を定めています。

そのため、現行の名寄市教育大綱のように新たに大綱を策定するのではなく、文科省初等中等教育局長通知のとおり、名寄市総合計画後期基本計画の、教育や学術及び文化の振興に関する箇所を「名寄市教育大綱」に代えることとしたい。

〔議 長〕意見はないか。

（委 員）

P44の家庭教育の推進について。これまでもこの事業の物足りなさを感じています。自分の子供が幼稚園になった時に保護者の集まりで話を聞いたり、この事業についてテーブルディスカッションをしたりしたこともありますが、この事業が、就学前の子供たちの保護者の意識というか、子供たちの将来への教育の関心度の高まりとかを実感したことが無いです。もう少しボリューム感、このあと小学校・中学校までその子供たちが上がった時にどうなっていくのかというところまで見据えた家庭教育の推進なのかどうか、担当されている部署には、もう少し熱心に議論し、見直すことも必要じゃないかという風に考えています。

（生涯学習課長）

家庭教育の推進についてはこれまで家庭教育学級指導と家庭教育支援事業という 2 本柱でした。新年度からは家庭教育推進事業 1 本にまとめます。事業をまとめているのですが、それぞれの参加者にアプローチの方法など、これからも取り組み内容に工夫を凝らして行きたいと考えています。家庭教育学級の内容ももっと掘り下げ

て取り組んでいきたいと考えています。

〔議長〕

若干、事業を進化させるということですね。こちらはKPI目標数値も出していますが、定性的にどういう風に家庭教育が良くなって、中高生まですくすくと発育したかと検証するのなかなか難しいですね。

(委員)

家庭教育の推進のところで、悩みや不安を抱えている家庭に対して、という記載がありますが、悩みや不安は全家庭にあります。ただ、ボリューム感というところでは、親御さんの生活スタイルの変化もありますよね。そのため、ここに記載の通り2学級での実施とありますが、全家庭に向けた家庭教育学級の開催案内や講演案内など、人と人とのつながりを持てるような場を設けていただくことを考えて欲しいと思っています。

〔議長〕

家庭も多様になってきて全家庭の生活スタイルが違うので、バチッと合わせるのは難しい。なので、より広く家庭教育を推進できるようなスキームを検討してみてはどうかという提言と捉えてよろしいでしょうか？

(委員)

就学前の子供たち、就学前の子供を抱える大人のスタートが家庭教育だと考えます。

(委員)

最近不登校が増えている現状もすべては家庭発信だと思う。親御さんたちの意見交換の場として大切にしてほしい。

(委員)

声をあげて参加してくれる家庭は良いが、声をあげられない家庭への支援をもっと考えてほしい。参加する家庭はある程度危機感を持っていると考える。自分でもわかっていない親御さんとか。どの程度それを拾っていけるかということかと思う。

〔議長〕

これは教育インフラだけの問題ではないですね。出産してから、働いていない間のコミュニティがあって、また保育所行き始めてまたその繋がりが途絶えて、繋がれない人たちをどうしていくかということですね。子育て世代で未就学児を持つ「あれ？」と思う家庭へのサポート施策などありますか？

(こども・高齢者支援室長)

にここランドなどがそうだと思うのですが、子供たちが集まれる場所を提供することで親御さん同士が話せる場所となったりするので、そういう場所を作って欲しいというご意見をいただいて作らせていただきました。

〔議 長〕

ひまわりランドもいろんなイベントを実施したりもしています。名寄市の公式ラインでも子育て支援情報の発信はきめ細やかに行っています。イベント情報も結構発信しています。今後も、いろんな人が参加しやすい、繋がりやすいような場所の提供に努めていきたいと思います。

(委 員)

P39の幼児教育と小学校との連携について、今現状どの程度のつながりをもって事業を行っているか、「密に」という記載があるのでは、「密」ではないのでは？とも考えられるのですが。表現上こうただけで、実際はこんなことしていますということがあれば教えてください。

(健康福祉部長)

従来から療育センターで発達に気になるお子さんの相談を受けています。その指導員から例えば、担任になる先生へお子さんの情報を引き継ぎし、連携をとって支援していくようなことを行なっています。

〔議 長〕

それでは意見が出尽くしたということで、今回の提案は、総合計画のVを名寄市教育大綱に読み替えていくというご提案でしたが、これについて決定してよろしいでしょうか？

————— 異議なく承認 —————

5 閉 会 午後4時15分